

平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について

本法人を始めとする各国立大学法人が6月末に提出した「平成26年度業務実績報告」に対する評価を審議するための国立大学法人評価委員会総会が、11月6日（金）に開催されました。同総会での審議・決定を受けて、同日文部科学省の国立大学法人評価委員会委員長から、本法人の評価結果について、別添資料のとおり通知がありましたのでご報告いたします。

本法人の評価結果については、「4つの項目別評価」（「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び情報提供」、「その他業務運営（施設設備の整備・活用、安全管理等）」）の全てにおいて、「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」という評価を得ました。

国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況では、地域社会の活性化につながっているとして「活き²プロジェクト」が取り上げられましたが、一方で、研究活動における不正行為、国際規制物資の不適切な管理、病院管理システムの利用についての課題が示されました。

このように、第2期中期目標期間の5年目である平成26年度実績の評価結果は、本法人にとって、ほぼ満足できる結果となりました。

平成27年度は第2期中期目標期間の最終年度でもあることから、本学としましては、中期目標・中期計画の達成に向けて、年度計画を着実に実施し、地域の「知の拠点」としての責務を果たせるよう、役員及び職員が一丸となって法人運営に取り組んで参ります。

平成27年11月9日

国立大学法人大分大学長

北野正剛